

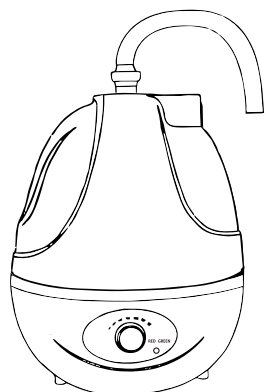
取扱説明書

保証書付

Fog

爬虫類・植物用加湿器

・この取扱説明書は大切に保管しておいてください。



この度は「Fog(フォグ)」をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。誤った使用方法は、火災や感電、故障などの原因となりますので、ご使用前にこの取扱説明書を必ず最後までお読みください

警告

- 定期的に電源プラグのほりこりを取る、電源プラグに水分やゴミを付着させない。
- 本体に異常・故障・破損があったり、電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する。
- 排水するときは水タンクを外し、両手で本体を持ち排水する。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
- 包装用ポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管する。

- お手入れに塩素系・酸性タイプの洗剤剤を使用しない。
- 幼児の近くや不安定な場所で使用しない。
- 電源コードを傷つけたり、破損させたり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねての使用はしない。
- お子様や取扱いに不慣れな方だけでの使用はしない。幼児の手の届く場所で使用したり、保管はしない。
- 電気製品や精密機器(テレビ・パソコン)などの近くでは使用しない。
- AC100V以外での使用やコンセント・配線器具の定格を超える使い方はしない。
- 傷んだ電源コードや電源プラグは使用しない。コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
- 開口部やすき間にピンや針金、金属物などの異物を入れない。
- 吹き出し口から噴霧される霧は、直接人体内に入れない。
- 水タンクを外したまま使用しない。

- 本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いをしない。
- 修理技術者以外は、絶対に分解したり修理・改造はおこなわない。
- お手入れのときは必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。ぬれた手で抜き差ししない。

注意

- 寒冷地などで凍結の恐れのあるときは、水タンク・本体の水を捨てる。
- 移動や持ち運びときは本製品をしっかりとって行う。
- お手入れはこまめにおこなう。
- 使用する環境に注意する。
- 外出するときなど使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いて排水しておく。

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かない。
- 水タンク内にお湯(40℃以上)や氷水、化学薬品、汚れた水、芳香剤、アロマオイルを入れて使用しない。
- 水のない状態や本体を倒した状態で使用は絶対しない。
- 浄水、ミネラルウォーター、井戸水等を使用せず、必ず水道水をご使用ください(雑菌、カビの発生原因となります。)
- 湿度の高い(70%以上)場所では使用しない。
- 使用中は、持ち運んだり、傾けたりしない。
- 使用中はお手入れ等はしない。
- 本製品は室内専用です。屋外で使用しない。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなる場所に設置しない。
- 吹き出し口や本体の吸気口をふさがない。
- お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない。

安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをするとう生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示内容を無視し、誤った使い方をした時に生じる危険や障害の度合いを下記の表示で区分致します。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡又は重傷を負うことが想定される内容を示しています。

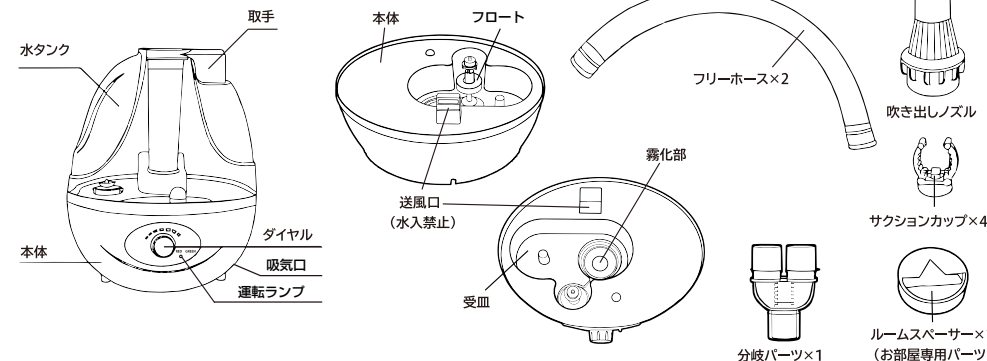
注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、軽傷や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

守っていただく内容の種類を、下記の表示を使って説明します。

◎記号は、禁止行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(左図の場合は、濡れ手禁止)が描かれています。

●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。図の中には具体的な指示内容(左図の場合は、特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示)が描かれています。

各部の名称

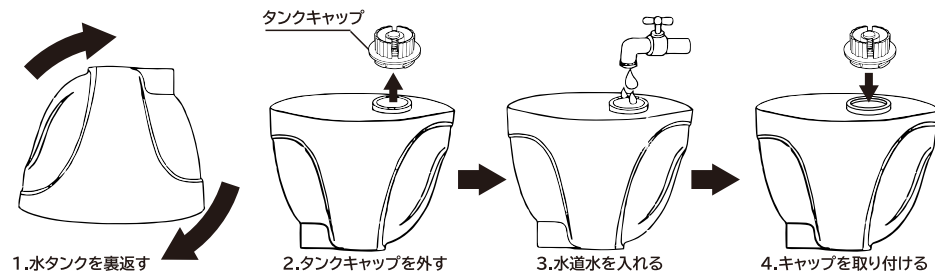


使い方

1 平らな安定した場所に置く

2 水タンクに水を入れる

本体から水タンクを取り外し、タンクキャップを外して水タンク内に水道水をいれます。水を入れたら、タンクキャップをしっかり締めます。

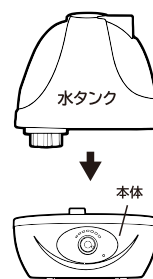


注意

水タンク内にお湯(40℃以上)や氷水、化学薬品、汚れた水、芳香剤、アロマオイル等は使用せず、必ず水道水をご使用ください

3 水タンクをセットする

水タンクの取手と底部を持ち、ゆっくりとセットします。この時水タンク内の水が本体の受皿に溜まっているかを一度水タンクを持ち上げ確認します。



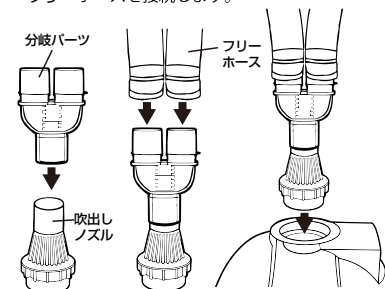
警告

水タンクを外したまま使用しない
誤って霧化部(振動子)を触ると感電やけがの原因になります。また噴霧が広がり本体の故障や床を濡らす原因になります。ご使用中に霧化部(振動子)や水柱に触ると痛みを感じることがあります。

本体内部には水を入れない
送風口から水が本体内部に入り込まないようにご注意ください。電気部品が濡れ、感電・ショート・故障の原因となります。

4 水タンクに吹き出しノズル、ホースを取り付ける

吹き出しノズルを本体に取り付ける際は、ルームスプレーを取り外してから行います。分岐する場合は吹き出しノズルに分岐パーツを取り付けてからフリーホースを接続します。



裏面につづく

5 電源プラグをコンセントに差し込む
ダイヤルが「OFF」になっているのを確認し電源プラグを根元までしっかりとコンセントに差し込みます。



電源コードは束ねたままで使用しないでください
水のない状態や本体を倒した状態、水タンクをセットしていない状態では、絶対に通電しないでください。また霧で濡れると故障する恐れのある物や事故につながる物がないかご使用前に必ず周辺をご確認ください。

6 運転する
ダイヤルを右に回すと運転ランプが緑色に点灯し運転を開始します。更にダイヤルを回すと噴霧量が増加します。運転ランプが赤色に点灯している場合は水が無くなっている表示なので、水タンクに水を給水してください。

■加湿量を調節するには

加湿量は運転ランプが点灯してから最大の範囲内で、無段階で調節することができます。お好みに合わせて調節してください。



家具や精密機器に霧がかかると、霧に含まれるカルシウムなどのミネラル分が固形化し、白粉が付着することがある為、直接かからないよう吹き出しホースの向きを調節してください。

■運転ランプが「赤色」に点灯した場合

水タンクの水が無くなると運転ランプが「赤色」に点灯し自動的に加湿運転を停止します。加湿運転が停止しても赤ランプは点灯したままです。ダイヤルを左に回し、電源をお切りください。運転を再開する場合は、水タンクに水を給水してください。

7 ご使用後は電源プラグをコンセントから抜く
ダイヤルを左に回し運転を停止し、電源プラグを抜きます。水ア力固着防止のため排水をします。
※霧化部周辺が熱を持つことがありますので、少し時間をおいてから排水してください。



使用時以外は、必ず電源プラグをコンセントから抜き排水してください
絶縁劣化による感電や漏電により火災・やけどが原因になったり、水漏れ・カビ・異臭の原因になる為。



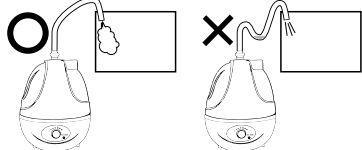
寒冷地などで凍結のおそれがあるときは、水タンク・受皿・霧化部の水を捨ててください
水タンクが割れたり、故障の原因になります。

■水タンク内の水が凍結するおそれがあるとき

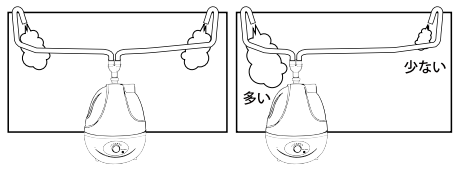
水タンク内の水が凍結する恐れがある時は、水タンク内の水を捨ててください。万一凍結した場合は常温で自然に溶かし、熱湯を注いだり他の熱源を近づけたりしないでください。

設置時の注意

ホースはたるまない様に設置してください。ホースがたるむと内部に水が溜まり霧が出なくなります。また、溜まった水がこぼれるとショート・感電の原因になります。



分岐パーツ使用時は必ずホースの長さを均等にしてください。ホースの長さにバラつきがあると霧の吐出量が変わります。



お手入れと保管

■霧化部周辺が熱を持つことがある為お手入れや移動の際は電源プラグを抜き、少し時間をおいてから作業してください



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください
また、ショートや感電の原因になるため、濡れた手で抜き差ししないでください



故障・ショート・感電や火災の原因になるため本体を水に浸けたり、水をかけたり、また丸洗いは絶対にしないでください



故障かな？と思ったら

症 状	原 因	処 置
運転（加湿）しない	●霧化部に不純物等が付着していませんか？	●霧化部に付着した不純物等を取り除いてください。不純物等を取り除いても改善されない場合は弊社までお問い合わせください。
	●フロートの回りにゴミなどが付着していませんか？	●フロートの回りのゴミを取り除き、フロートが機能するようにしてください。
	●運転ランプが「赤色」に点灯していませんか？	●水タンクの水が無くなると運転ランプが「赤色」に点灯し、自動的に加湿運転を停止します。再度加湿運転をする場合は水タンクに給水して再開してください。
水漏れする	●温度が高くなる場所に本体を設置していませんか？	●直射日光のあたらない場所や暖房機器から離して本体を設置してください。
電源プラグが異常に熱くなる	●コンセントの刃受け部がゆるくなっていますか？	●コンセントを調べてください。
	●タコ足配線や延長コードを使用していますか？	●延長コードやコンセントの定格以内でご使用ください。



お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しないでください
製品の変質や劣化による破損・故障・ケガ・事故の原因になる場合があります。
※お手入れは水またはぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取ってください。



掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹きかけないでください
変質・破損などによりケガ・事故の原因となります。

■受皿・霧化部（1週間に1回以上）

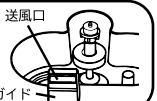
・水に浸した柔らかいふきんをよく絞り受皿や霧化部の水アカや汚れを取ります。霧化部に付着した水アカ等が取れなくなると霧が発生しなくなった場合はお買い換えをご検討ください。
・フロートまわりのゴミは取り除きます。

※フロートの回りにゴミなどが付着すると正常に動作しない場合があります。

■保管

・お手入れしたあとよく乾燥させ、直射日光や湿気を避けて保管します。（湿ったまま保管するとカビの発生や異臭・故障の原因になります）

※お手入れ中は受皿や霧化部に水をいっぱい入れないでください。
※お手入れ中や排水時などは、送風口から水が本体内部に入り込まないよう注意してください。
電気部品が濡れ、故障や事故の原因になります。



仕様

品名	爬虫類用加湿器 Fog (フог)
本体サイズ	W200×D160×H230mm
タンク容量	2.5ℓ
製品重量	830g
セット時サイズ	W200×D160×H340mm
セット時重量	3430g
生産国	中国
電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	25W
加湿量（目安）	約300ml/h ※最大運転時
連続使用時間	10時間 ※最大運転時
安全装置	オートOFF機能（運転/赤色ランプ）

※製品の仕様やデザインは改良のため予告なく変更する場合があります。

保証規定

- 1.お買い上げ日から、6ヶ月間を保証期間とし、この期間内に取扱説明書・本製品注意書き等の内容に従った正しい使用状態で故障した場合には無料修理致します。なお、製品の傷は保証の対象にはなりません。
- 2.保証期間終了後、および保証期間内であっても、下記の場合は保証の対象外になります。
(イ) 保証書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入がない場合。
(ロ) 保証書の字句を書き換えられた場合。
(ハ) 本書の提示がない場合。
(ニ) 使用上の誤り・不注意・過失による故障・破損。
(ホ) 不当な修理・改造および分解による故障・破損。
(ヘ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変や公害や異常電圧による故障・破損。
(ト) 指定以外の電源（電圧・周波数）による故障。
(チ) 家庭以外や屋外で使用した事による故障・破損。
- 3.保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 4.保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 5.製品の仕様・デザインは予告なく変更することがあります。
- 6.弊社からの出張修理・交換等は致しておりません。お買い上げの販売店にご相談願います。
- 7.いかなる場合においても、製品の仕様または使用不能から生ずる損害（身体死亡・社会的損害）等に対して弊社は一切の責任を負いません。

※お買い上げ時のレシートは必ずお取り置き下さい。

■故障・修理のお問い合わせは

西日本地区 072-654-3743 AM 9:00～12:00
東日本地区 0480-33-2058 PM 1:00～ 5:00

受付時間：土日祝祭日を除く月～金曜日
ホームページ: <https://www.zensui.co.jp>

ゼンスイ 株式会社

本社 〒566-0052 大阪府摂津市島飼本町5丁目1-16 TEL：072-654-3743 FAX：072-654-3753
関東営業所 〒345-0036 埼玉県北葛飾郡杉戸町杉戸1-9-20 TEL：0480-33-2058 FAX：0480-33-2059

保証書

※印欄は必ず販売店様にて記入捺印をいただいで下さい。

保証の対象	本品	爬虫類・植物用加湿器 Fog
保証期間	ご購入日より6ヶ月間	
ご購入日※	年	月 日
お名前		
お客様※	電話番号	
	ご住所	
販売店名※	ご住所	

